

びわ湖材の流通の現状について

1 流通の現状

県内の森林から生産されたびわ湖材は、滋賀県木材流通センターを通じて県内外の市場や加工施設に運ばれ、製材品として県内の工務店やビルダー等に納品されている。

(川上) 搬出間伐が中心となっており、ほとんどが3m・4mに造材されたうえでABC材の規格に仕分けられる。

(川中) 滋賀県木材流通センターを核として県内外の市場や製材所、工場等へ流通している。

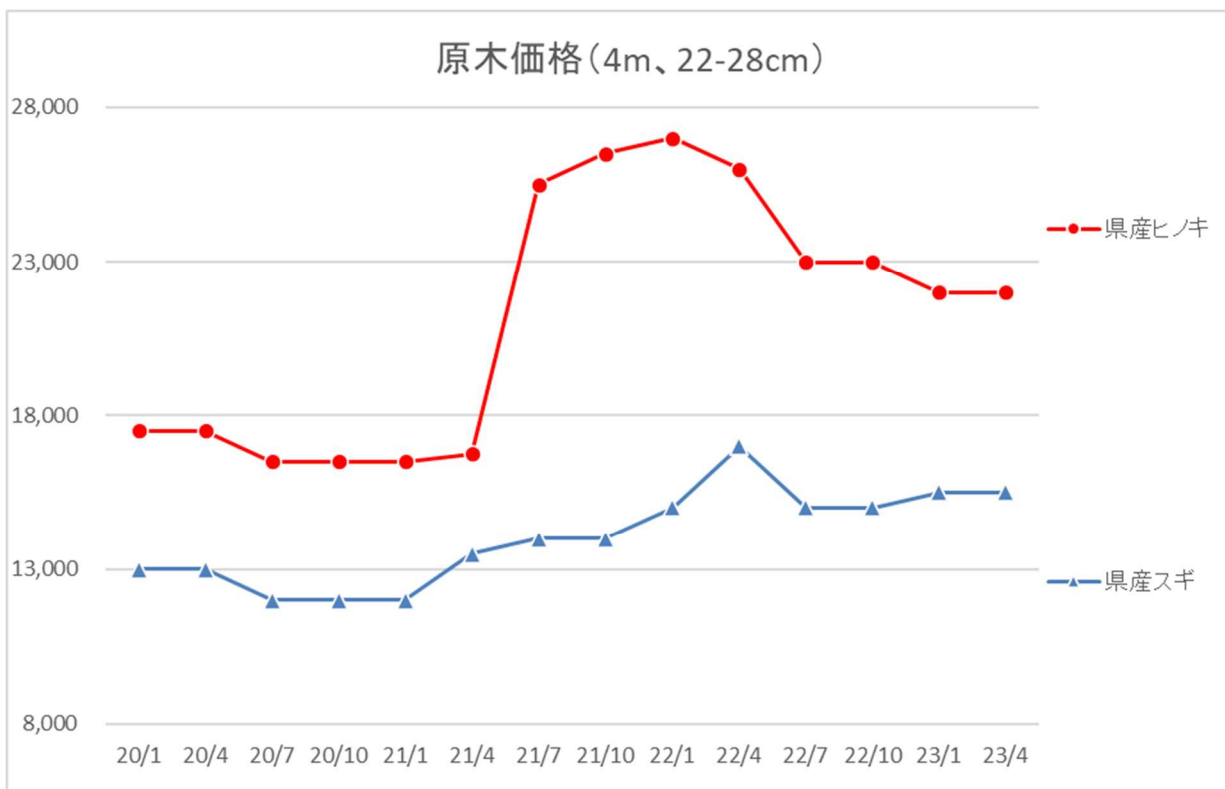
(川下) 加工された製材品は間屋等を通じて工務店やビルダーに納品される。また、C材については県内外のチップ工場よりバイオマス発電所等の最終需要者に納品される。

(別紙「木材流通図(令和3年度)」参照)

2 価格の現状

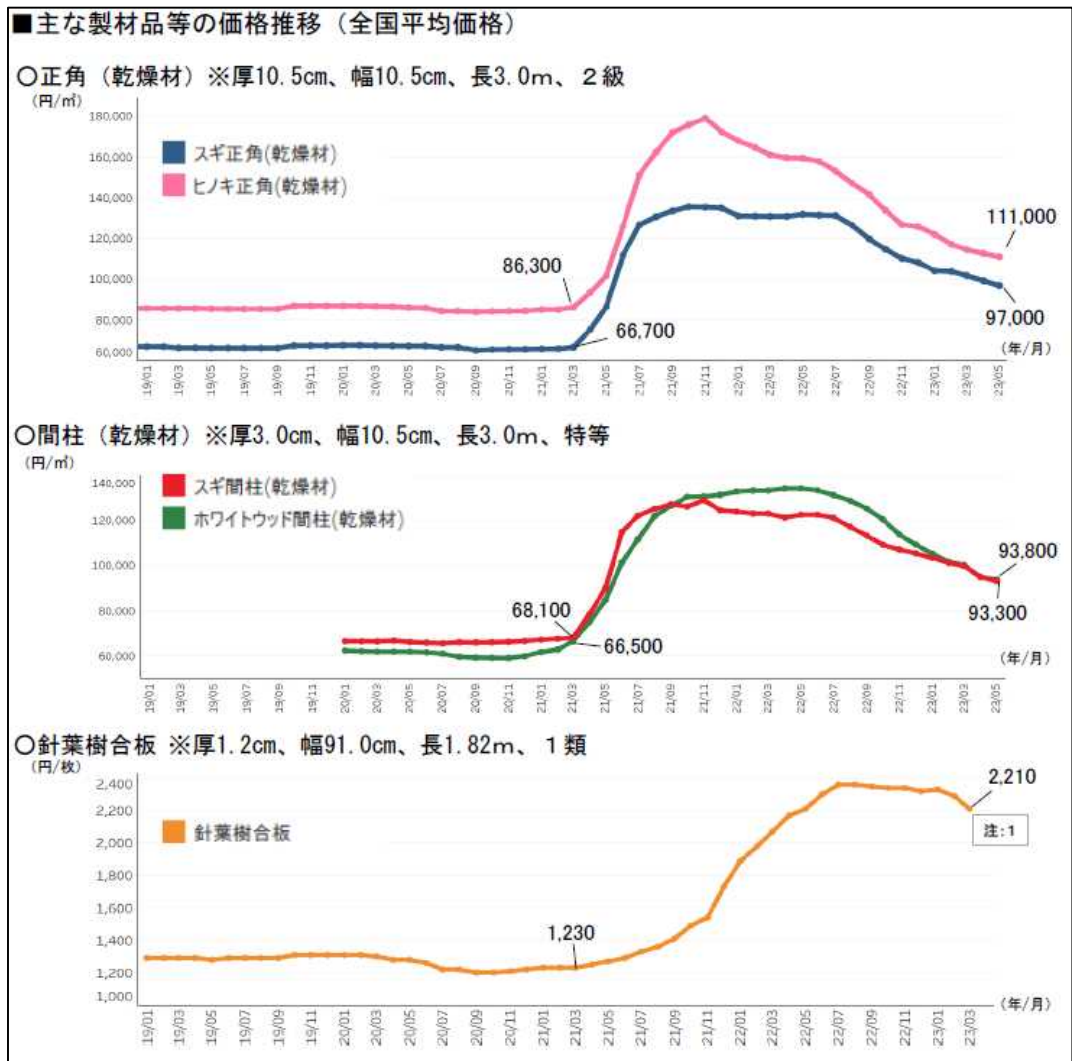
原木および製材品の価格については、ウッドショック(2021年3月)以前と比較すると、高い水準で推移している。

① 原木価格



滋賀県木材市況流通調査より

② 製材品等の価格



林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」令和5年6月No.21より

③ 原木と製材品等の価格



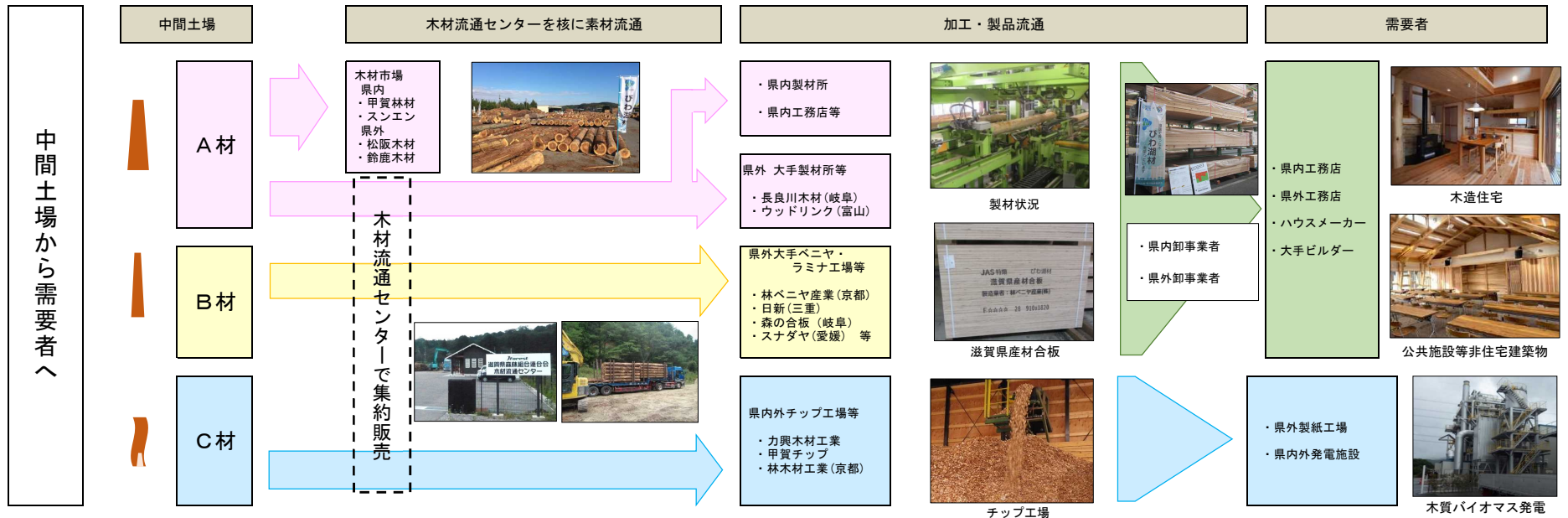
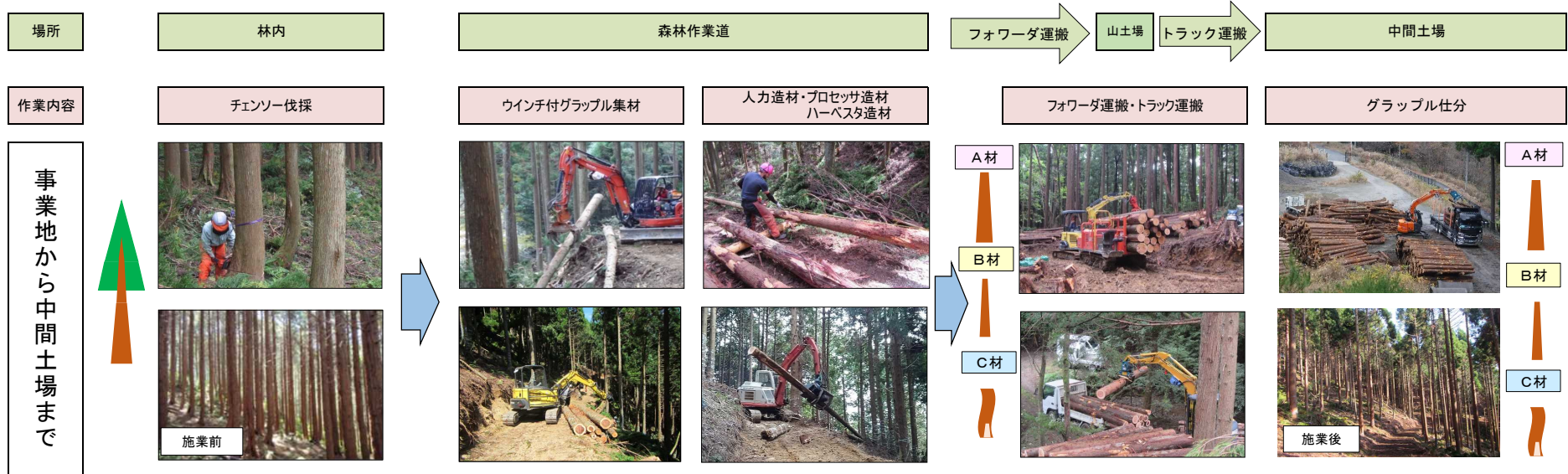
平成4年度 森林・林業白書より

3 取組と対策

安定供給に向けた需給調整機能の向上

- (川上) 主伐・再造林の促進や、効率的な施業により木材生産量の拡大を図る。
- (川中) 滋賀県木材流通センターを核として、様々な需要に適切に応えるため、県内外の製材所との連携による需給調整や効率的な集出荷を行う。
- (川下) 木材調達に関する専門的な知見を有した製品流通調整員を配置するとともに、建築の構想段階から建築士などの木造建築の関係者との連携を強化し、木製品の安定供給を図る。

木材流通図（令和3年度）



県外の大規模製材工場等の状況

黒枠はR3流通取引あり
 ※は取引実績あり

